

**「沖縄の空に、ワクワクと安心を。」ヘリコプターを活用した新たな交通システムの創業を支援
～沖縄公庫、株式会社 Blue Mobility に対し沖縄銀行と協調して創業融資を実行～**

沖縄振興開発金融公庫（理事長：川上好久）は、株式会社 Blue Mobility（所在：沖縄県那覇市、代表者：道廣敬典、令和5年4月設立、資本金800万円）に対して、沖縄銀行による創業資金1,500万円（県信用保証協会保証付）と沖縄公庫による沖縄創業者等支援資金1,500万円の協調融資（計3,000万円）を実行しました。

事業の概要

株式会社 Blue Mobility（以下「当社」）は、ヘリコプターを活用した新たな交通システムを構築し、ヘリコプターでの移動を大衆化することにより新たな価値を創出し、沖縄の交通課題を解決することを目的として設立されたITスタートアップ企業です。当社はヘリコプター遊覧飛行国内最大手のSpace Aviation株式会社と提携し、同社のヘリコプターを利用して、那覇空港、恩納村、名護市の3拠点でのヘリコプターバス（定時運行）、県内各地のヘリポートを自由に移動できるヘリコプタータクシー（チャーター）、ヘリ放題（一定期間内乗り放題）、ヘリギフト（ヘリ搭乗体験チケットギフト）の4つのサービスを展開することを予定しています。先行して実施したクラウドファンディングで想定を超える支援を得られたことから、プロモーション価格9,800円でのヘリコプターバスのサービス提供を行うなど、県内外から注目を集めています。今後は、中北部地域で利用可能なヘリポートを増やし、地元のタクシー会社やレンタカー会社と提携することで、「ヘリを降りたらずぐ乗車」というスキームを構築し、社会課題である交通渋滞を解消すること等を目標としています。

当社代表の道廣敬典氏は、「『沖縄の空に、ワクワクと安心を。』をミッションとして、観光体験のアップデートを図り、オーバーツーリズムの軽減や経済波及効果を生み出す」ことを目指しています。





今次事業の評価

沖縄振興開発金融公庫は、当社の事業が①交通渋滞の解消による経済的損失の回避等、県内の社会課題解決に資するものであること、②新たな観光体験の提供により沖縄観光の高付加価値化等が図られること、③富裕層のみを対象とせず、ダイナミックプライシング（価格変動制）の利用によりヘリコプター移動の大衆化にチャレンジする、新たな市場を創出する可能性を有するものであること、④ヘリコプター運行业者との業務提携やマーケティング等の知見を有する株主やアドバイザー等、代表者をサポートする態勢が強固であることなどを評価して、沖縄銀行と協調して創業融資を実行しました。融資金は、システム開発費用とサービスが市場に浸透するまでの期間における立ち上がり運転資金に充てられます。

沖縄創業者等支援貸付の特徴

沖縄創業者等支援貸付は、新規開業して概ね7年以内の事業者の方で、①新規市場の創出が見込まれる事業を新たに行う方、②雇用の創出を伴う事業を新たに行う方、③母子家庭の母または父子家庭の父であって、事業を新たに行う方、④経営多角化を図る方を対象に、必要な設備資金・運転資金を低利で融資する制度です。また、担保・連帯保証人は原則不要とする新創業融資制度は、新たに事業を始める方または事業開始後税務申告を2期終えていない方を対象に融資制度と併用してご利用する制度です。

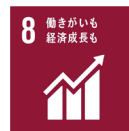
当公庫では、沖縄県における子供の貧困対策・ひとり親家庭の支援を総合的に推進する一環として、平成29年度から資本性ローンの適用対象制度に沖縄創業者等支援貸付を追加し、ひとり親家庭の親の新規開業のほか、雇用創出を伴う事業の新規開業を支援しています。

本制度の詳細については、当公庫ホームページ (<http://www.okinawakouko.go.jp/>) でもご覧いただけます。

沖縄振興開発金融公庫は、国の施策に基づく政策金融機関として、今後とも本融資制度等を活用し、外部機関とも連携を図りつつ、地域経済の活性化や地域振興に資する事業を積極的にサポートしてまいります。

【問合せ先】

融資第二部生衛・創業融資班（担当：上原） TEL 098(941)1830
 業務統括部業務企画課（担当：永山） TEL 098(941)1740



本件に該当する SDGs